

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部	福祉部	課	高齢福祉課
---	-----	---	-------

施設名称	〔18〕 東京都台東区立特別養護老人ホーム台東					
指定管理者の名称	社会福祉法人聖風会	指定期間	H27.4.1	～	H32.3.31	
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
(1)業務内容	第一種社会福祉事業・・・特別養護老人ホーム（6）、軽費老人ホーム（1） 第二種社会福祉事業・・・高齢者在宅サービスセンター（9）、短期入所（6）他					
(2)類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム5施設					
(3)経営状況	(27年度決算ベース) 4,493,185,829円 歳出4,448,090,192円 収支差額45,095,637円 歳入					
<b>2. 施設の概要</b>						
(1)所在地	台東区台東1-25-5					
(2)設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行い、高齢者の福祉の向上を図る。					
(3)利用者	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者					
(4)開館日・時間	通年、24時間					
(5)規模	延べ床面積 21,236.85㎡のうち4,609.20㎡ 鉄筋コンクリート造地上14階地下2階のうち4・5階部分 居室、個室、食堂、浴室、クリーンルーム、医務・看護室など					
(6)人員体制	47名 内訳...施設長（常勤1）、事務員（常勤2）、介護職員（常勤22、非常勤15）、介護支援専門員（常勤1）、看護職員（常勤1、非常勤2）、相談員（常勤1）、管理栄養士（常勤1）、機能訓練指導員（常勤1）					
<b>3. 事業（サービス提供）の概要</b>						
(1)委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助{食事、介護（排泄・入浴援助）}、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
<b>4. 予算決算の推移</b>						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	37,931,910	39,397,050	37,048,000	37,634,116	37,680,520
	利用料金収入	241,524,000	244,736,000	250,624,000	244,441,000	256,792,000
	その他収入	27,906,090	20,512,950	16,329,000	27,547,884	5,871,480
	管理経費	307,362,000	304,646,000	304,001,000	309,623,000	300,344,000
決算	委託料	37,927,710	39,395,265	37,048,000	37,589,728	37,680,520
	利用料金収入	228,338,878	248,352,296	252,005,489	248,229,760	253,326,382
	その他収入	26,440,998	15,558,024	1,715,583	651,560	292,206
	管理経費	283,774,703	277,871,635	279,150,460	285,735,462	287,944,606
	収支	8,932,883	25,433,950	11,618,612	735,586	3,354,502
<b>5. 施設の稼働状況等（活動指標）</b>						
指標名称	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	
入所定員（ショートステイ含む）	人	60	60	60	60	
<b>6. 成果指標</b>						
指標名称	単位	目標値（29年度）	25年度	26年度	27年度	
利用率（特養+ショート）	%	95.5	96.7	94.4	95.0	
利用者数（特養+ショート）	人	20,900	21,185	20,678	20,852	

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

有資格者の登用や法人内の統一書式でのデータ管理といった取組みは継続して実施した。加えて、苦情対応にあたっては、学識経験者や地域の代表を委員とした第三者委員会を開催する等、地域と連携しながらサービス向上に努めた。

8. 評価項目  
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[-]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数等の目標達成	[2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価  
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	介護職員の75%以上で介護福祉士の資格保持者を登用するなど、継続して職員配置に力を入れた。また、利用者の状態把握のための勉強会や介護知識向上のための勉強会を実施し、疾病の予防や早期発見・対応に努めた。
(2)施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理については、全体的に適切に行われている。
(3)利用者の満足度	A	概ね良好な評価を得ている。特に満足度調査では接遇面での評価が高い。利用率については、効率的な空床管理により前年度と比較して改善している。
(4)収入支出	A	特別養護老人ホームの空床期間短縮に努めた結果、年間の利用率が上がり、収支の向上に繋がった。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

<b>妥当</b>	利用率に関し、前年度と比較して改善している。職場内での研修や苦情に対する第三者委員会等の各種体制整備も充実し、全体として適切な管理運営を行っている。
-----------	--

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

利用者や家族へのきめ細やかなサービスの実施による利用率の向上が望まれる。また、地域に開かれた施設として、地域貢献の取組みを積極的に実施していく。